

OneGeology

ブライトン合意

2007年3月12日-16日、43カ国と53の国立機関と国際機関から81名の参加者が英国ブライトンに集い、全地球的なものから地域的、各国規模にいたる地質図データの入手を容易にし、それにより社会に対する利便性を向上させるにはどうすればよいか討議し、合意に達した

地質図データが科学や教育の向上に欠くことのできないものであり、これにより環境災害を軽減し、エネルギー、鉱物、水の安定供給を保証し、我々が直面する気候変動に緊急に対処するための解決策が提供できることを、われわれ参加者はワークショップにおいて強調した

提言

われわれ参加者は、以下に掲げる10提言を地質調査所等の諸機関に伝達する必要があるという点で合意し、ブライトンでの会合に参加しなかったすべての地質調査所等の諸機関に、これらの提言を受け入れるよう働きかける。

1. OneGeology 構想は以下の使命をもって行われる：

OneGeology は、世界中の地質調査所が行う構想であり、100万分の1を手始めとして世界規模で最高品質の地質図データを公開、インターネットでのアクセスを可能にし、社会のニーズにさらに取り組むものである。これを国際惑星地球年を契機として開始する。

2. OneGeology が重点を置くのは、すでに地質図が作成されている範囲についてアクセス可能にすることで、これにより全世界的地図データのシームレス化が促進されると考えられる
3. OneGeology が最優先するのは、100万分の1程度の地質図データをアクセス可能にすることである。さらに、だれにでもアクセスができ、より解像度の高いマッピングができるよう、そうしたアプリケーションとのリンクおよび相互運用を行う
4. OneGeology は社会に役立ち、かつ地質図データを提供する地質調査所等の諸機関の効果と効率を向上させることを目指している
5. OneGeology とその参加者は、その職務と目標を支援するため資金を求め、また OneGeology を遂行するための相互支援を提供する戦略を立て、参加者の能力向上を図る
6. OneGeology の一環として配布された地図データの所有権は作成者である地質調査所等の諸機関がもつが、理想的にはユーザーに無料で利用してもらうという認識を参加者はもっている
7. OneGeology は地質調査所等の諸機関の代表からなる運営グループによって運営され、世界中の地球科学とその関連分野の団体からなる国際調整委員会に密接に関係づける。OneGeology はより広範な地質-空間情報コミュニティとも積極的に交流を行う。また、その目標達成のためタスクグループを設置する。この構想を確実に持続、継続させるため事務局を設置し、2008年12月まではこれを英国地質調査所内に置く
8. OneGeology の優先事項は、相互運用可能でインターネットでアクセスできる科学属性情報の利用を可能にし、参加者の能力に応じたレベル向上を図ることである
9. 地質調査所等の諸機関は、協力して必要な情報互換標準の開発と遂行を行い、データの相互利用を可能とすることが望まれる
10. OneGeology での進展は2008年にオスロで開催される国際地質学連合の席上で発表され、地質図データへのインターネットアクセスが増加したことを立証することになっている

本合意は2007年3月16日英国ブライトンにて開催された OneGeology ワークショップにおいて、満場一致で承認された